

2019年3月期（第22期）

# 第1四半期決算概要

2018年8月13日

株式会社バイ・テクノロジー

# 将来見通し等について

・第1四半期決算について、説明会の開催は御座いません。

## ・将来見通し

本資料に記載されている当社の計画、戦略、見通し及びその他の歴史的事実でないものは、将来に関する見通しであり、これらは現在入手可能な期待、見積、予想に基づいています。これらの期待、見積、予想は、経済情勢・市況の変化、競争環境の変化、顧客のある国の政策変化、係争中及び将来の訴訟の結果など多くの潜在的リスク、不確実な要素、過程の影響を受けますので、実際の業績は見通しから大きく異なる結果となる可能性があります。

従って、これら将来予想に関する記述に全面的に依拠することは差し控えて頂きますようお願いいたします。また、当社は新しい情報、将来の出来事などに基づきこれらの将来予測を更新する義務を負うものではありません。

## ・為替リスク

当社の主力製品である、フラットパネルディスプレイ製造装置の輸出販売は、原則円建てで行われております。一部に外貨建て決済もありますが必要に応じて受注時に為替予約を付し、為替変動リスクをヘッジしております。従って、装置販売に関する為替レート変動による影響は軽微であります。

## ・数字の処理

記載された金額は、単位未満を切り捨て処理、比率は単位金額で処理した結果を四捨五入している為、内訳と一致しない場合があります。

## ・本プレゼンテーションの12ページの市場見通しなどの記述について

IHS Markitの顧客向けデータを元に、当社が独自の解釈を加えたものであり、IHS Markitによる本資料の確認は行われておりません。

## ・会計年度の表示について

FY18Q1累計、FY19Q1累計 = 2018年3月期あるいは2019年3月期の第一四半期（4月1日～6月30日）の累計。

FY18Q1、FY19Q1 = 2018年3月期あるいは2019年3月期の第一四半期のみ。

# 決算概要

---

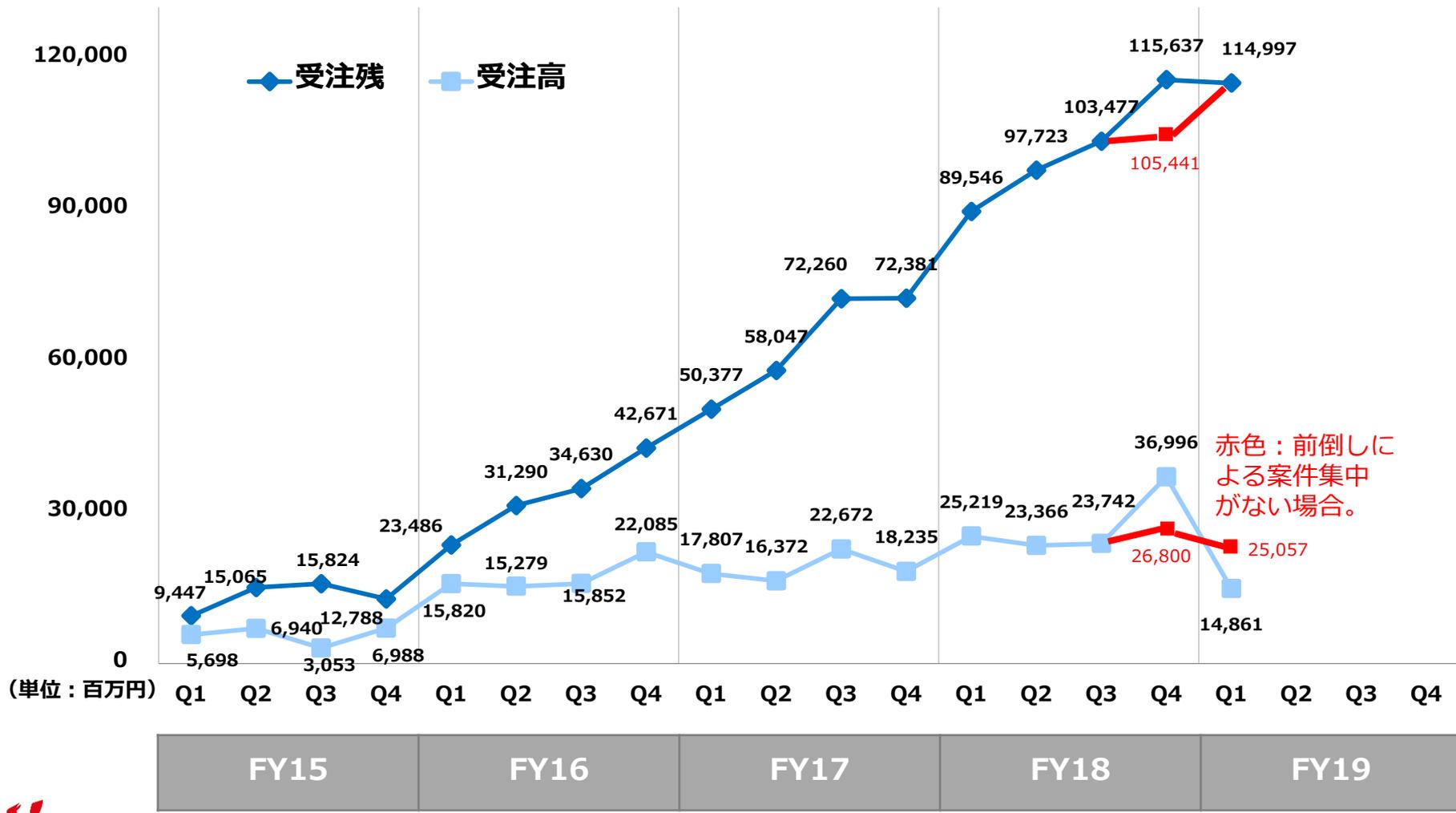
# 連結業績ハイライト

想定通りの進捗。当Q1の収益について大型ディスプレイ関連の新工場の立上げが継続し前年比で好調に推移。受注金額は、製造装置の受注が前年度下期、特にQ4に集中した反動で減少。

	FY18 Q1累計		FY19 Q1累計		増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	8,055	—	15,501	—	92.4%
売上総利益	2,426	30.1%	4,846	31.3%	99.8%
営業利益	652	8.1%	2,733	17.6%	319.1%
経常利益	689	8.6%	2,834	18.3%	311.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	444	5.5%	1,981	12.8%	346.1%
受注金額	25,219	—	14,861	—	-41.1%
受注残	89,546	—	114,997	—	28.4%

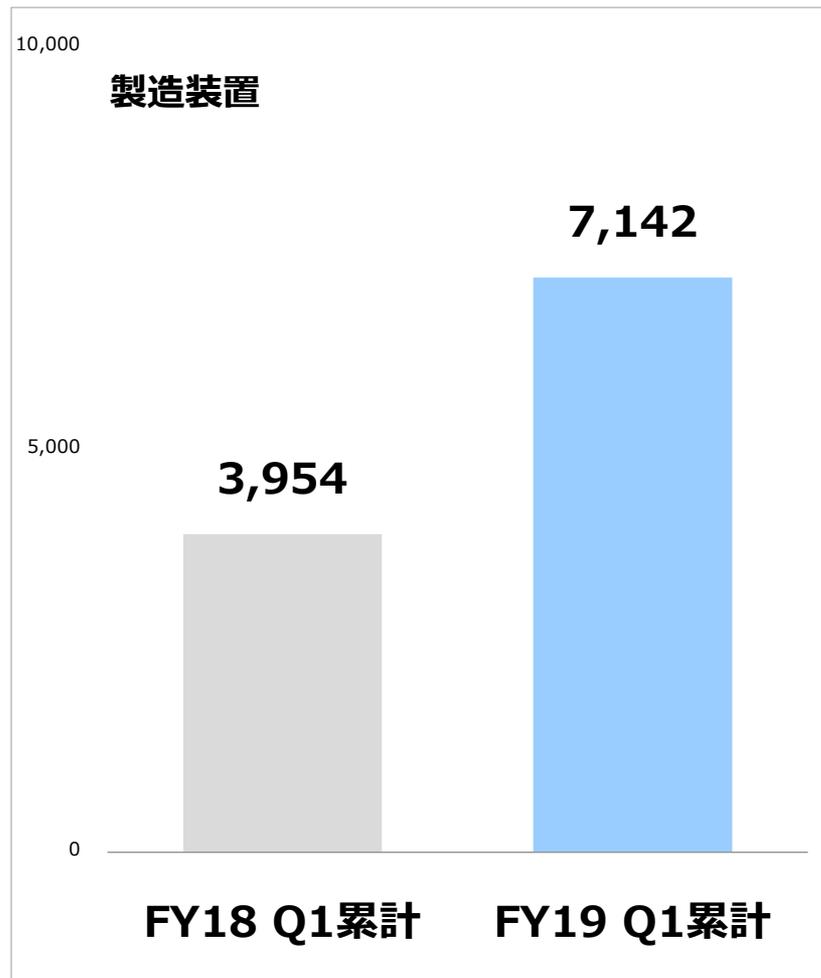
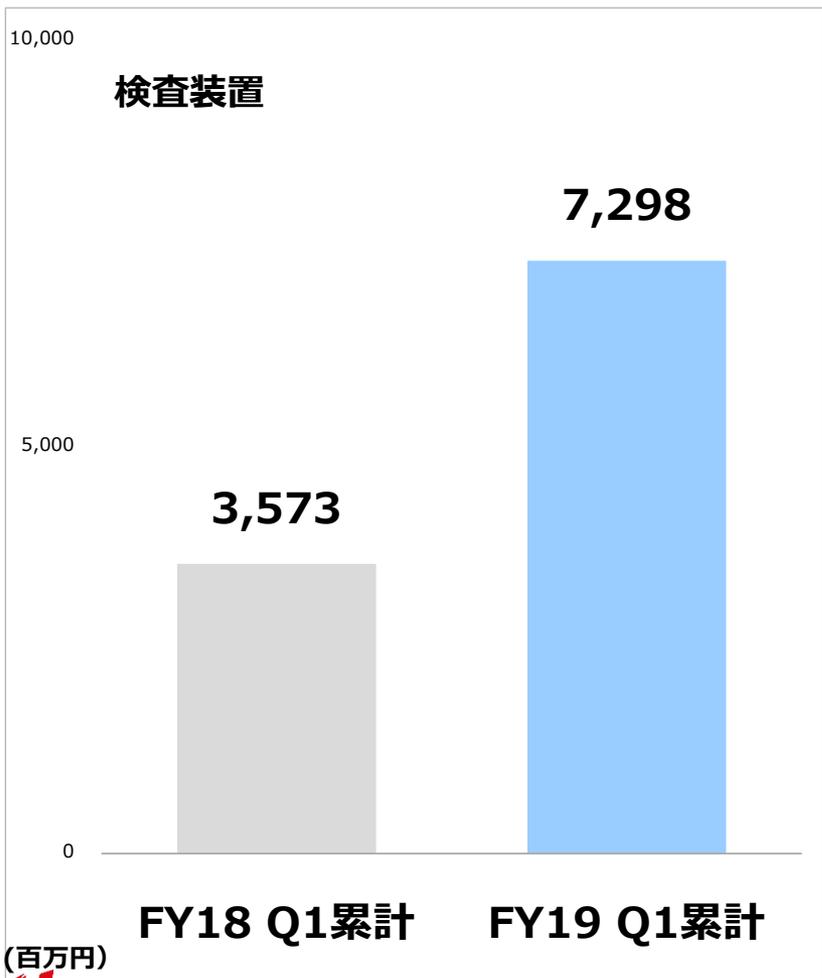
# 連結受注残・四半期毎連結受注高の推移

受注金額について、Q1受注は、製造装置の前倒しの受注が前年度下期、特にQ4に集中した反動で減少、Q2を底に下期に回復する見通し。



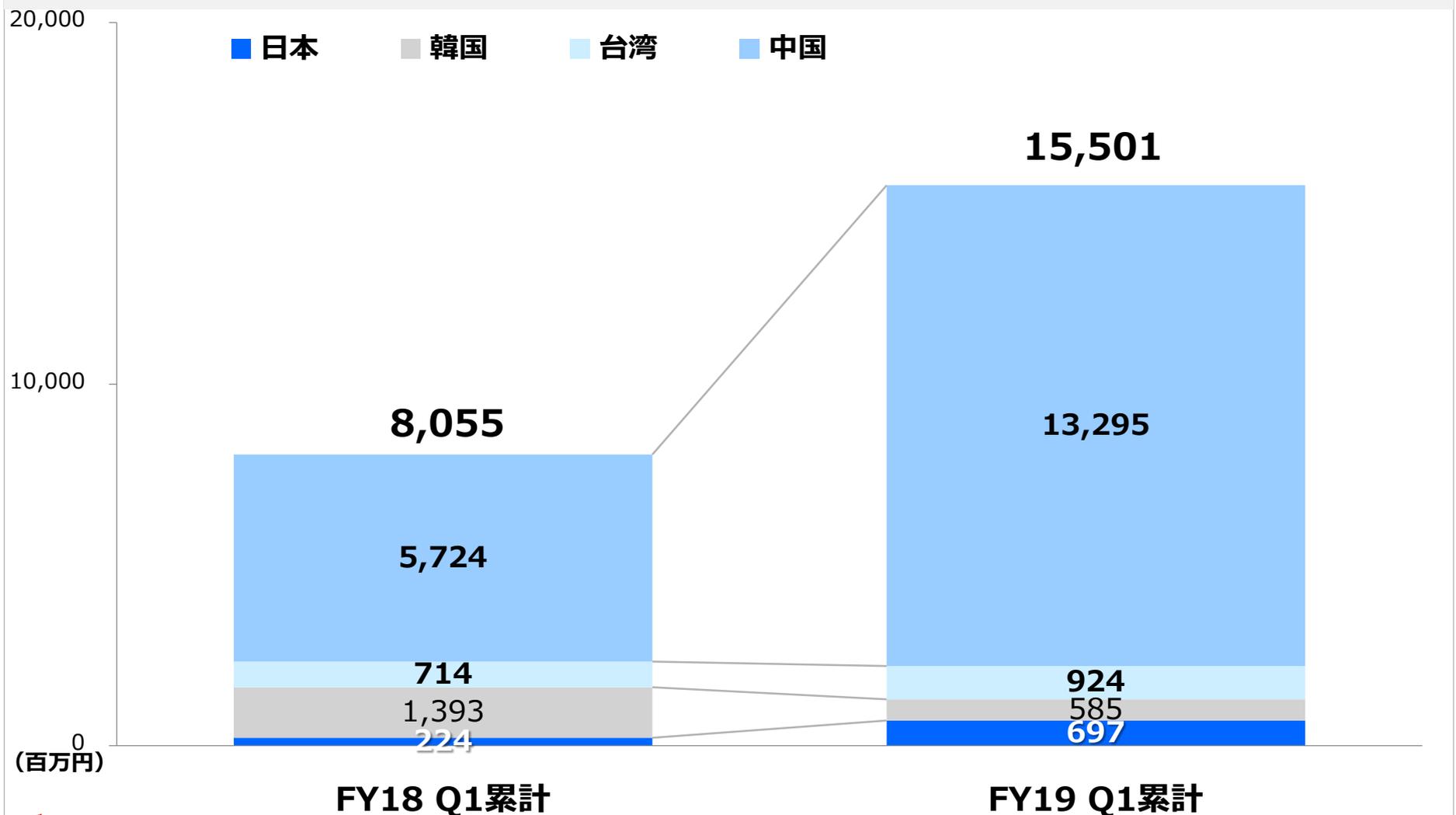
# 装置別連結売上高

主に大型液晶ディスプレイの設備投資が継続され、特にG10.5対応装置の販売増加等により、検査装置、製造装置共に前年比で大幅に増加。



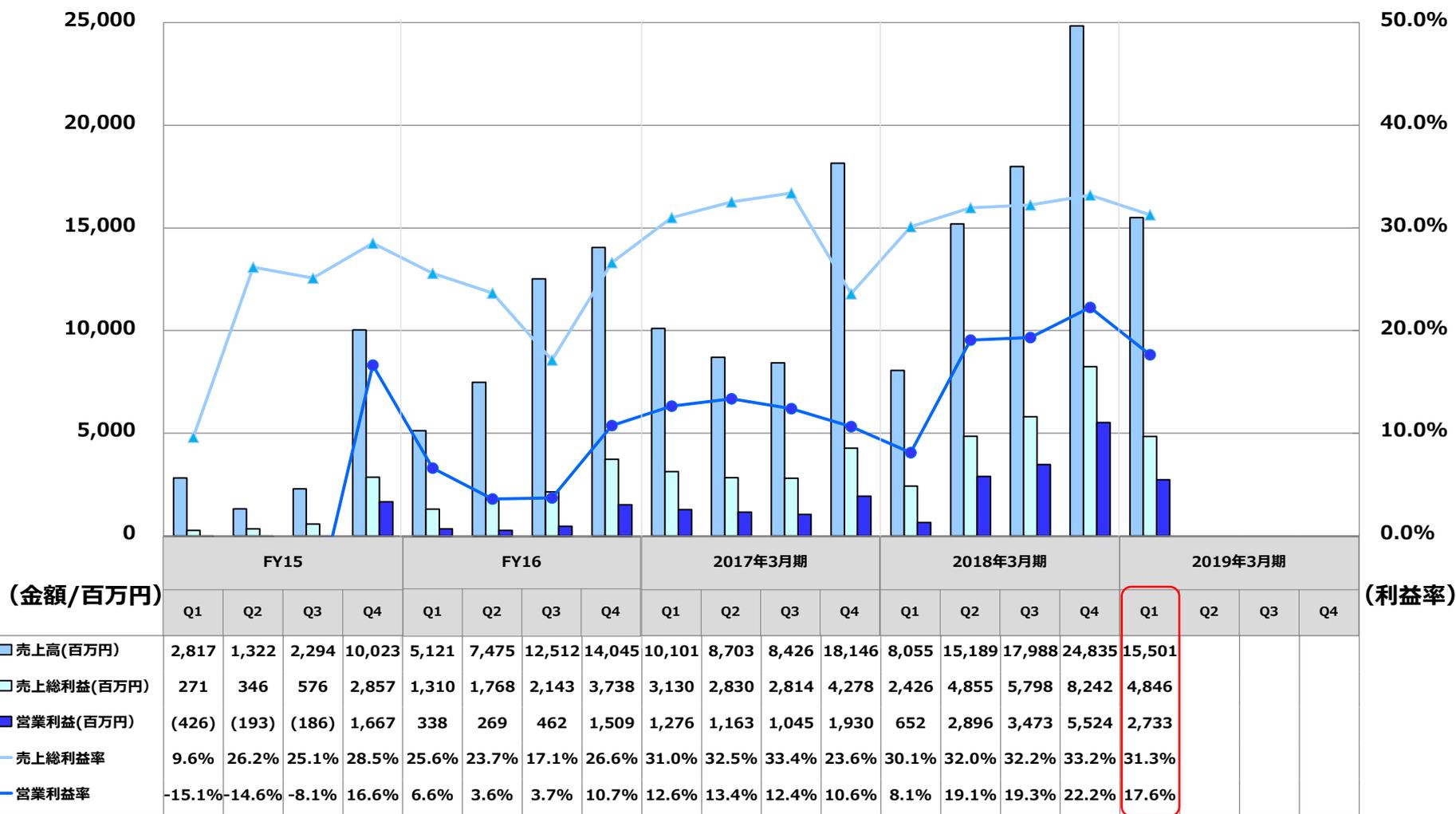
# 地域別連結売上高

中国内で大型液晶ディスプレイ関連の設備投資が継続され、中国向けの販売が132.3%の大幅増に。



# 四半期毎連結売上高・利益の推移

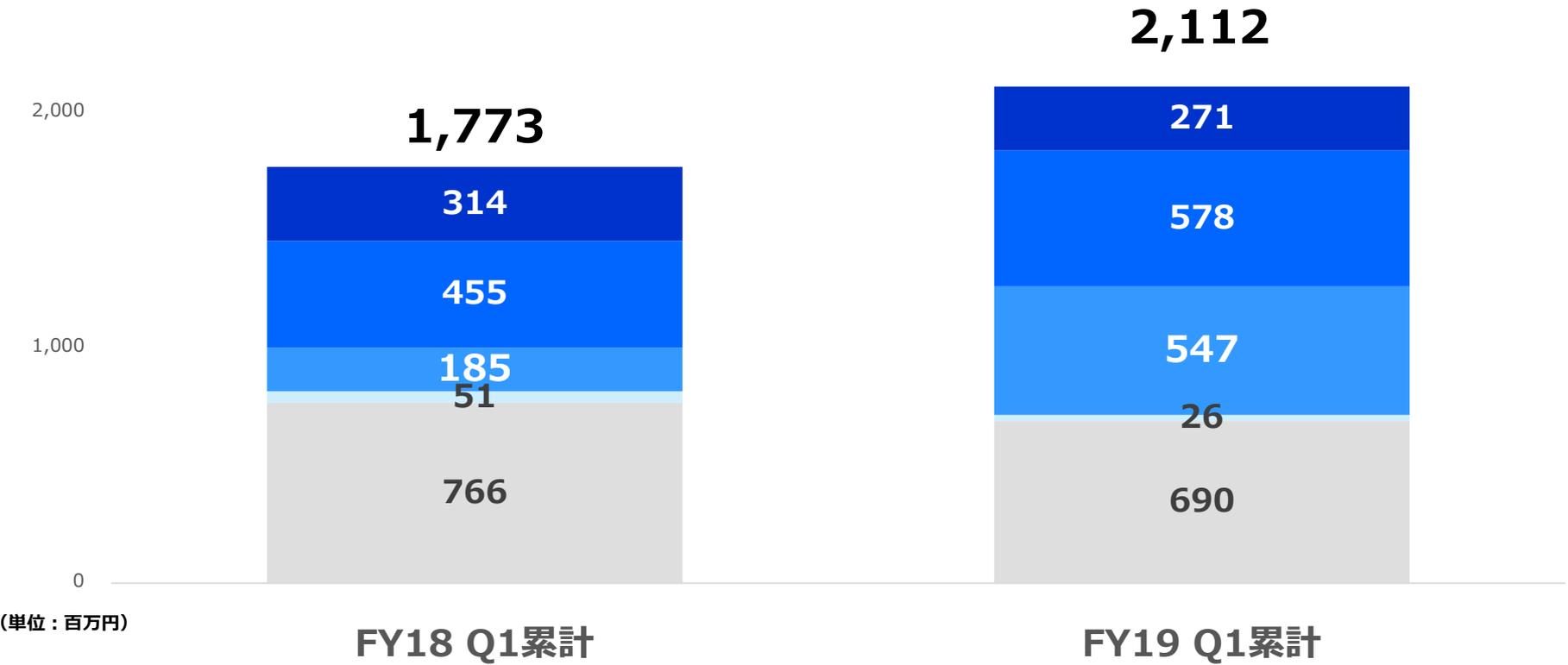
想定通りの進捗。



# 販売費及び一般管理費（連結）

販管費の内、G10.5対応装置、特に製造装置の出荷増により主に発送費が増加。

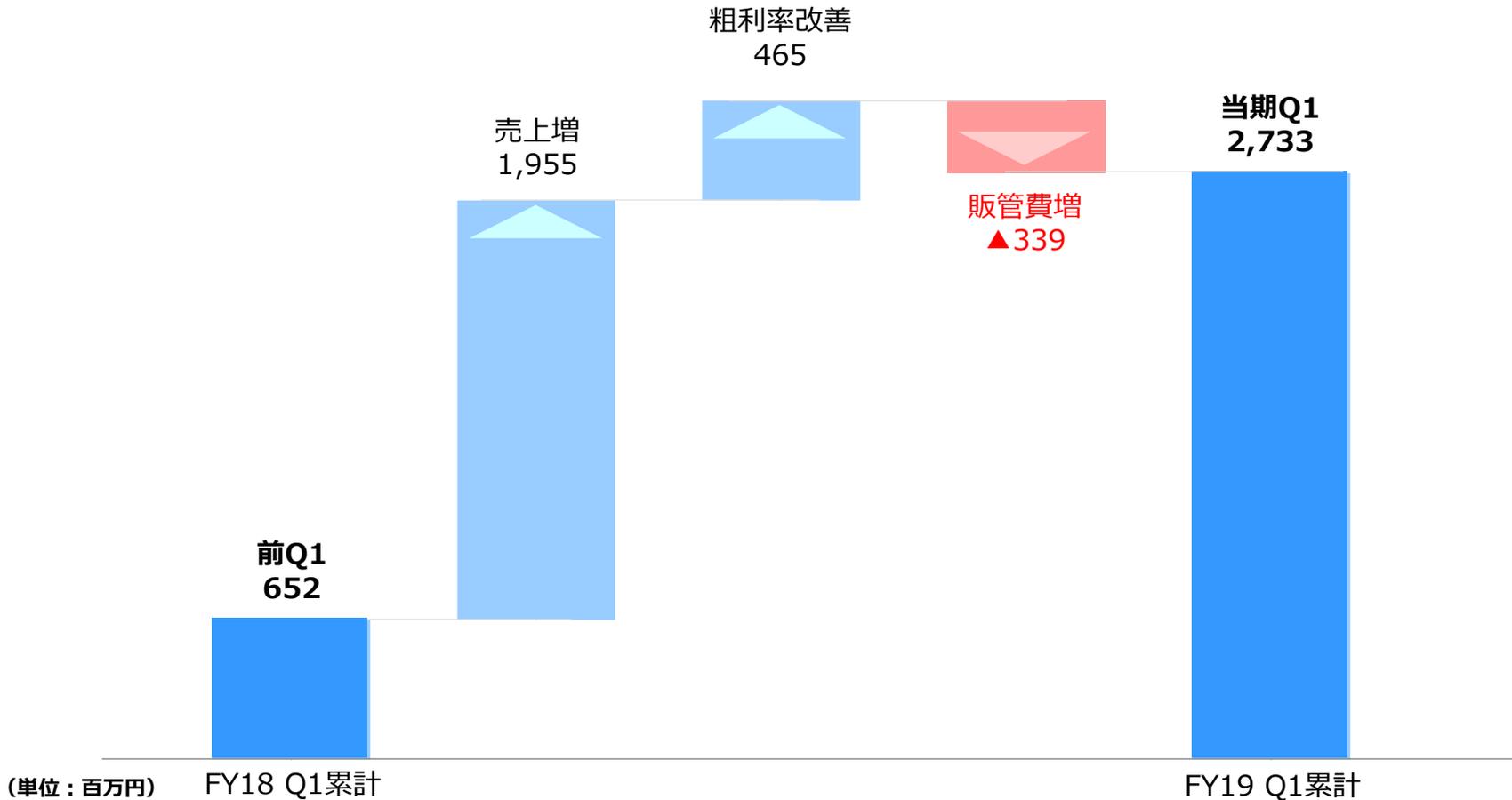
- その他
- 製品保証関連費用
- 発送費
- 人件費
- 研究開発費



(単位：百万円)

# 連結営業利益の差異分析

G10.5対応装置の販売比率の増加および原価コスト等の削減により、営業利益は前年比で319%増加。



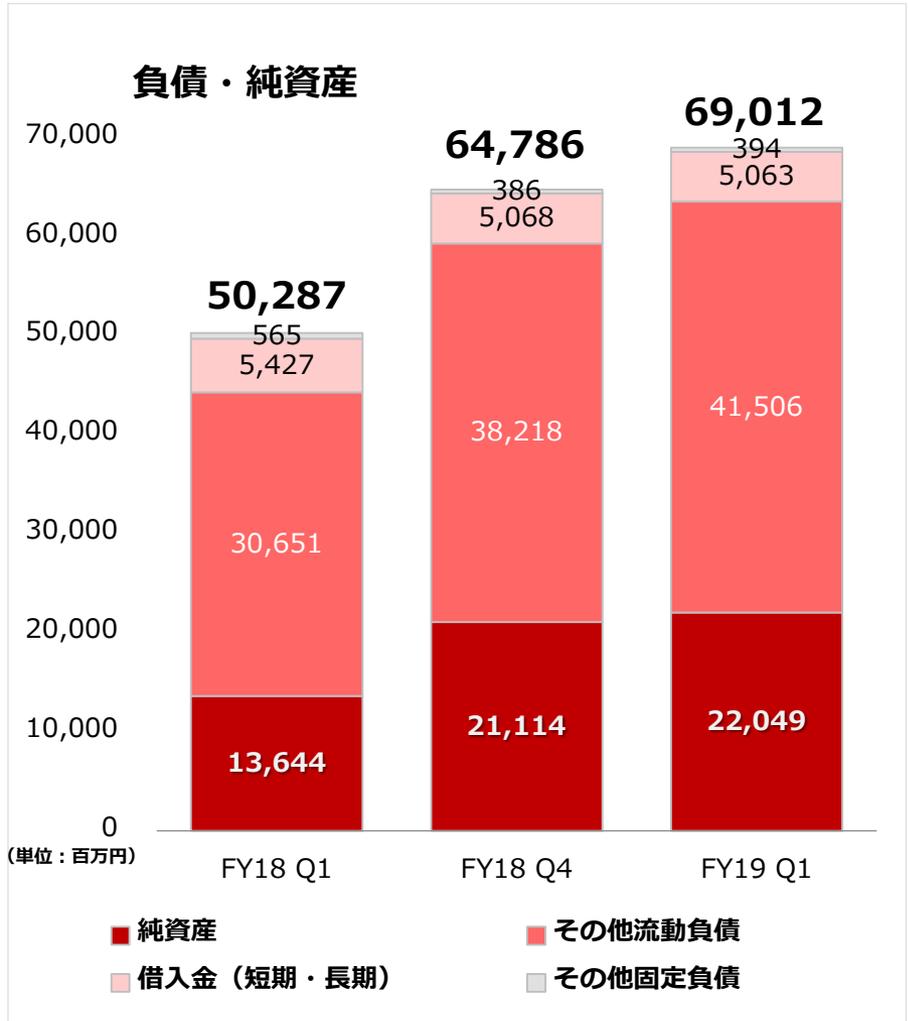
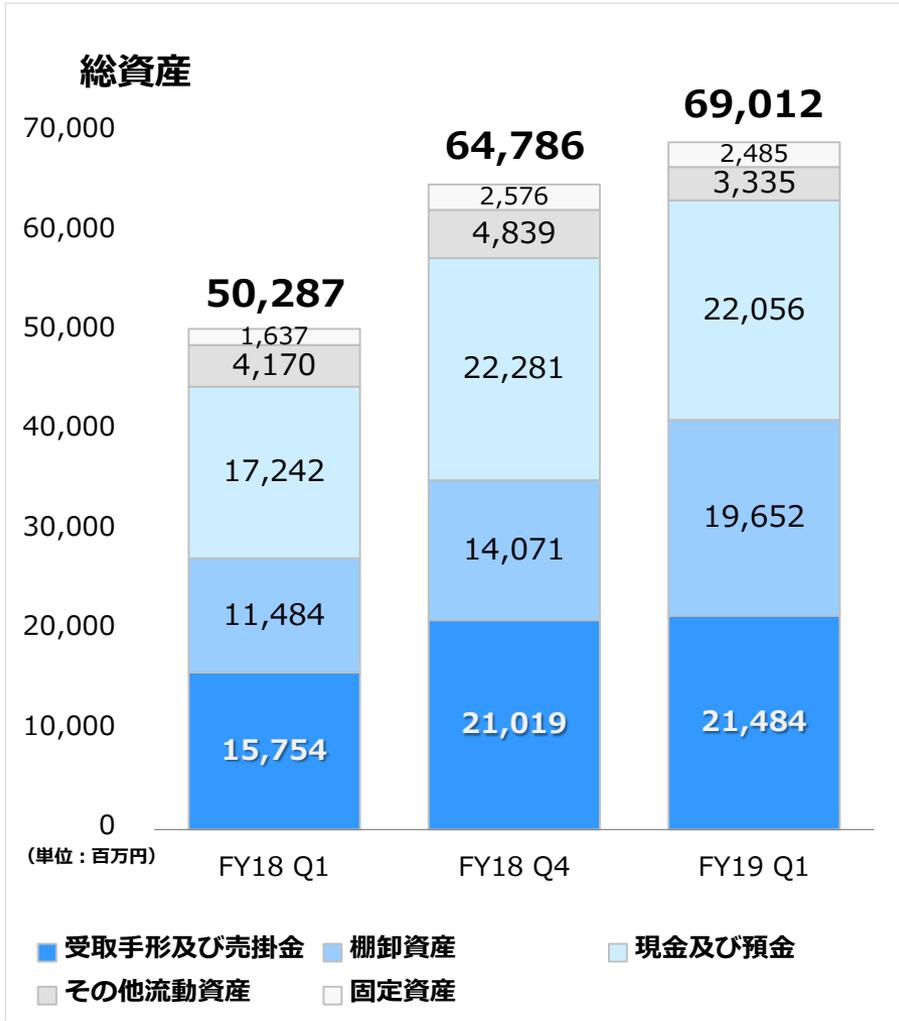
(単位：百万円)

FY18 Q1累計

FY19 Q1累計

# 連結貸借対照表の推移

売上および受注増加に伴う、仕掛品、前受け金、利益剰余金等の増加により、B/Sは、前年度Q4比で6.5%、前年同期比で37.2%拡大。

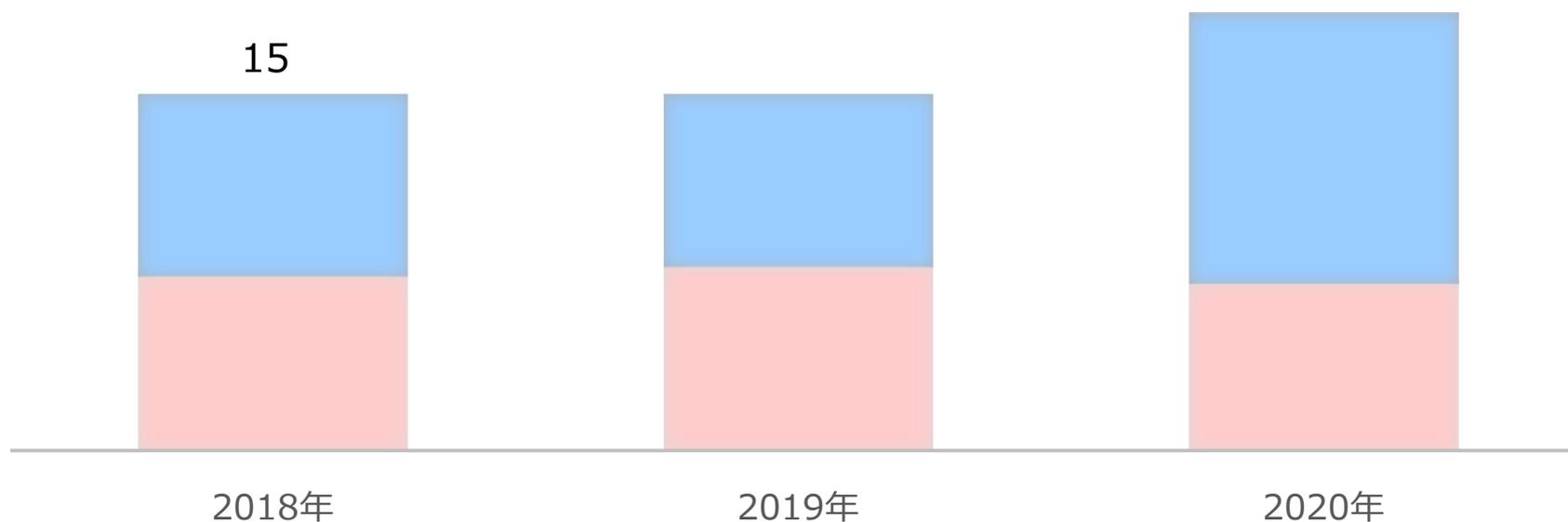


# ディスプレイ製造装置市場見通し

2018年について、設備の販売は大型液晶ディスプレイ用の設備を中心に順調に推移。設備投資計画について、OLED（有機ELディスプレイ）関連投資の一部に遅れが見られるものの、LCD（液晶ディスプレイ）関連は安定的に推移する見通し。

■ LCD ■ OLED

Billion USD



FPD製造装置販売予測(カンガ-イ-、IHS Markit社データより当社にて作成)

# 2019年3月期 業績および配当の予想

5月14日発表内容と変更なし。半期見通しは開示しておりません。

	FY18		FY19		YOY
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	66,067	—	82,000	—	24.1%
営業利益	12,545	19.0%	16,500	20.1%	31.5%
経常利益	12,370	18.7%	16,200	19.7%	31.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	7,837	11.9%	10,000	12.2%	27.6%

1株当り当期純利益	1,582.84円	2,019.59円	+435.75円
-----------	-----------	-----------	----------

## 配当について

2019年3月期見通し	中間配当 : 160円 (予想)	期末配当 : 160円 (予想)	+50円
(参考) 前期実績	中間配当 : 100円 (実績)	期末配当 : 170円 (実績) (記念配当30円を含む)	

# 2019年3月期 連結売上予想の内訳

5月14日発表内容と変更なし。製造装置の全て、検査関連装置の殆どを受注済み。

